

令和 6 年 6 月 25 日現在

機関番号：32206

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2019～2023

課題番号：19K24209

研究課題名（和文）次世代育成力の母娘世代間伝達を活用した性成熟期女性への健康支援プログラム開発

研究課題名（英文）Development of the program to raise the health for women of reproductive age utilizing the mother&#8211;daughter intergenerational transmission of generativity

研究代表者

菱谷 純子（Hishiya, Sumiko）

国際医療福祉大学・成田看護学部・教授

研究者番号：20586458

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,900,000円

研究成果の概要（和文）：次世代育成への関心である次世代育成力は、その重要性が認識されるものの母娘世代間伝達を活用した健康支援はこれまでになく、本研究では次世代育成力を活用した性成熟期女性への健康支援プログラム試案を作成した。本研究で作成したプログラム試案はCOVID-19の感染拡大後の質的調査を活用しており、今後の汎用性が高い。今後作成した支援プログラムを実施評価することは、より多くの女性と子どもの健康を支援し、生涯にわたる健康向上に役立つ。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、次世代育成力の母娘世代間伝達の様相を質的に明らかにし、その結果を活用した健康支援プログラムを作成したものであり、この成果は性成熟期女性の健康支援を検討するための基礎的資料として役立つ。また日本女性の健康寿命は平均寿命に比べて短く、その延伸が課題である。性成熟期女性の健康は女性が生み育てる子どもの健康に影響することに加え、将来の自分自身の健康に影響するため、その向上は健康寿命の延伸に役立つという波及効果が期待できる。

研究成果の概要（英文）：Although the importance of nurturing skills for the next generation is recognized as important, there has been no health support that utilizes intergenerational transmission between mothers and daughters.

A draft health support program for women of reproductive age created in this study utilizes qualitative research conducted after the spread of COVID-19 infection, and has high versatility in the future.

Implementing and evaluating the support programs created in the future will help support the health of more women and children and improve their health throughout their lives.

研究分野：生涯発達看護学

キーワード：次世代育成力 世代間伝達 性成熟期 母娘関係 プレコンセプション ヘルスリテラシー ジェネラ
ティヴィティ generativity

1. 研究開始当初の背景

性成熟期に獲得した生活習慣は、その後も維持され女性自身の健康に影響するうえ、Developmental Origins of Health and Disease 学説の発展により、胎児期の栄養状態と生活習慣病の発症との関連が示され、性成熟期にある女性の健康は次世代の子どもの健康支援としても重要であることが指摘されている (World Health Organization, 2013)。しかし、日本の性成熟期女性の健康への関心は低く、他先進国と比べて栄養素の摂取不足であり (厚生労働省, 2019)、子宮がん検診受診率は3割に留まり (厚生労働省, 2017)、日本の性成熟期女性の特徴を捉えた新たな健康支援方略が必要である。

次世代を育成することへの関心である次世代育成力 (濱田他, 2004) は健康を高める心理的要因として注目され、欧米では母親から娘への世代間伝達 (Peterson, 2006) に加え、より若い世代での健康への影響 (Sigvartsen et al, 2016) が報告される。日本女性でも女子大学生の次世代育成力は母親から影響を受け (菱谷他, 2010)、次世代育成力は健康に関係する (菱谷, 2018) ことから、次世代育成力の母娘世代間伝達は健康に影響する要因の一つであり、日本の性成熟期女性への健康支援方略に、次世代育成力の母娘世代間伝達を活用することが可能である。

2. 研究の目的

本研究の目的は、次世代育成力の母娘世代間伝達を活用した性成熟期女性への健康支援プログラムの開発である。

3. 研究の方法

(1) 研究1

性成熟期女性の次世代育成力は健康と関係し、母親の次世代育成力の影響を受けるという母娘世代間伝達は量的な研究で確認され、健康支援に活用可能と考えられた。しかし、母娘世代間伝達の実態を質的な研究で明らかにしたものはない。したがって、健康支援プログラム試案作成の基礎的資料とするため、次世代育成力の母親から娘への世代間伝達の様相を質的記述的に明らかにした。

性成熟期女性とその母親の母子7組 (合計14名) を対象に、オンラインによる半構造化面接を行い、得られた音声データは逐語録とし、質的記述的に分析した。当初、性成熟期女性7名を1グループ、母親7名を1グループとし、性成熟期女性と母親それぞれのフォーカスグループインタビューを予定していたが、COVID-19の感染拡大により対面で集合したインタビューが難しくなったため、オンラインを活用した個別インタビューに計画を変更して実施した。

(2) 研究2

当初予定していなかった COVID-19 の感染拡大という現状に即したプログラム試案を作成するための文献検討を追加した。パンデミックによる健康意識の高まりを背景に、メディアや健康相談アプリなどの健康情報を提供する媒体の増加が起こり、特に様々な健康情報の中から正しい情報を入手、理解して活用する能力であるヘルスリテラシーの重要性が高まったことから、性成熟期女性の健康とヘルスリテラシーの関係性を明らかにするための文献検討を行った。

(3) 研究3: 支援プログラム試案作成

プログラム試案を作成し、本研究に興味や関心を持つ学生、地域住民に意見を求め改善し、性成熟期女性5名とその母親5名 (合計10名) を対象としたオンラインによる半構造化面接により、母娘の世代間伝達を活用した健康支援プログラムについて意見を求めた。

4. 研究成果

(1) 研究1: 次世代育成力の母娘世代間伝達の様相

2021年3月に調査会社を介してリクルートし応募された20~25歳の性成熟期女性7名とその母親7名を対象とし、インタビューを行い、音声を録音し逐語録とした。分析は性成熟期女性と母親の語りをそれぞれ、意味内容を検討しコードを抽出、サブカテゴリ、カテゴリと抽象度を高め、最終的に性成熟期女性と母親の関わりの様相をまとめた。

以下、カテゴリを【】、サブカテゴリを<>、コードを「」で示す。

性成熟期女性

7名逐語録から476データを確認し、意味内容を検討し105コード、16サブカテゴリ、6カテゴリが抽出された。

【健康への気遣い】は、<食生活への気遣い> <落ち込みへの配慮> など心身の健康を気遣うサブカテゴリで構成され、その中に「栄養学の授業で母親の言っていたことの正しさに驚き、ありがたいと思った」のように家庭外で知識を得たことで母親の正しさや伝えてくれたことへの感謝が述べられていた。【パートナーの選択】は<父親の選択理由> <理想のパートナー> などが示された。【子どもを産むタイミング】は<産む前にすること> <女性の出産年齢の制限> な

ど、母親の経験を踏まえた娘への助言であり、娘は「(母親は)パートナーとの性交渉を心配している」「(母親は)不妊治療で辛い思いをしたから自分が同じ辛い思いをしないように言ってくる」と発言をする母親の心情を想像しながら聞いていることが示された。【子どもを授かる難しさ】は<妊娠・出産のリスク><不妊治療>など、「子どもが欲しいと思っても、すぐに妊娠できるものではないと言われた」「自分(第一子)の上にも生まれてくることができなかった子どもがいると聞いた」など、母親が不妊治療や流産の経験に基づいて語っている内容で構成される。【妊娠と出産および育児の大変さ】は<慣れない子育て><仕事との両立><経済的不安>などで構成され、「産んでからしばらくの間は大変過ぎて記憶がない」「仕事でもストレスがあるので両立はむずかしい」など次世代育成の困難な経験が語られていた。一方、【母親を手本とする安心感】は<母親への安心感><周囲の人にやさしい母親>などで「(母親は)愛情深い人だと思う」「道で会う知らない子にもやさしい母親を見ると安心できる」「自然に、母親と同じようにすればよいのだと感じた」など、母親から言語的には伝えられないものの、娘が母親の行動を観察し、伝達されている内容が示された。

母親

7名逐語録から309データを確認し、意味内容を検討し98コード、14サブカテゴリ、5カテゴリが抽出された。

【健康への気遣い】は<女性特有の病気の相談><心身の見守り>など、【子どもを産むタイミング】は<母親として伝えることは伝える><女性の出産年齢の制限>など、【子どもを授かる難しさ】は<妊娠・出産のリスク><不妊治療>など、【妊娠と出産および育児の大変さ】は<慣れない子育て><仕事との両立><経済的不安>など、性成熟期女性が母親から伝達されたと述べている内容と同様に示された。

また性成熟期女性では示されなかったカテゴリとして【娘との関係性における距離感】が示された。このカテゴリは<娘の自己判断の尊重><親として女性特有の話をする関係><娘に話すタイミング>など、「大学生になって、友人と相談して決めることも増えてきた」「いずれ娘に話すかもしれないが、まだ時期ではない」など娘の成長を気遣い、親との関係性から娘に伝える内容を精選しタイミングを思案するカテゴリが示された。

母娘世代間伝達の様相

性成熟期女性には無く母親から示されたカテゴリには【娘との関係性における距離感】があり、詳細に検討すると、母親は娘の成長に応じて伝えるよう、関係性を考慮し、娘に話すタイミングを悩んでいるが、話すきっかけづくりとして、「ニュースやドラマを一緒に見る」「家族写真をとるなど、家族のイベント」など、日常生活で話す機会やきっかけを作ろうとしている様相が確認された。また、副次的にCOVID-19の感染拡大により、性成熟期の娘が友人と接する機会が減り、母親は娘の社会性の発達を懸念している様相が確認された。

(2) 研究2: 文献検討

効果的な支援方略への新たな知見を得るためにCINAHL、MEDLINEを使用し「Health literacy」&「preconception」をキーワードとして2018年から2023年までの文献を対象に検索し、内容を確認した結果38件を確認し継続的な知識提供の効果が確認された。

(3) 研究3: 支援プログラム試案作成

プログラム試案について、性成熟期女性5名とその母親5名(合計10名)、を対象にオンラインによる半構造化面接により、意見を求めた結果、改善点として「支援時期」「支援方法」について確認された。

支援時期は、性成熟期の大学生を想定していたが「大学生は健康をあまり重要だと感じない」「母親はその母親から次世代育成力を伝達されており、次の世代の子どもにより効果的な次世代育成力の世代間伝達をするためには、妊娠中もしくは出産直後から『次世代育成力と性成熟期女性の健康』に関する知識提供があるとよい」「出産直後から乳児健診など継続的に女性の健康を意識する支援があるとよい」という意見が確認された。

支援方法では、「COVID-19の感染拡大により、オンライン診療や健康支援アプリへの抵抗感が減り、活用しやすくなった半面、webでの情報提供には限りがあり、『オンラインだとしても対面での知識提供が信頼できる』という直接的な対話を求めるものであり、もう一方は「webでの情報提供はwebにアクセスするという行動を自らが行う必要があり、『印刷媒体が目につく場所に置いてある』方がwebより簡便である」という印刷媒体の活用方法が示された。

(4) 今後の課題

次世代育成への関心である次世代育成力は、その重要性が認識されるものの母娘世代間伝達を活用した健康支援はこれまでになく、本研究独自のものである。また本研究で作成した支援プログラムはCOVID-19の感染拡大後の調査結果に基づくものであり、今後の汎用性が高い。今後、本研究で得た次世代育成力と健康に関する研究知見を活用し、本研究で作成した支援プログラムを実施評価することは、より多くの女性と子どもの健康を支援し、生涯にわたる健康向上に役立つことが期待できる。

<引用文献>

- 厚生労働省 (2019) 国民健康・栄養調査 <<https://www.mhlw.go.jp/content/001066903.pdf>> .
最終アクセス日 2024 年 6 月 23 日
- 厚生労働省 (2017) 国民生活基礎調査 . <<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/dl/16.pdf>> . 最終アクセス日 2024 年 6 月 23 日
- 濱田 庸子 (2004). 第 1 章 ジェネラティヴィティ・クライシス (generativity crisis)
次世代を育む心の危機とは . 小此木啓伍・濱田 庸子・山田康 (著). <次世代を育む心>の危機 ジェネラティヴィティ・クライシスをめぐって . pp. 3-30. 東京: 慶應義塾大学出版 .
- 菱谷 純子, 落合 幸子, 池田 幸恭, 高木 有子 (2010). 青年期の次世代育成力と親からの存在肯定メッセージとの関連. 母性衛生, 50(4), 552-559.
- 菱谷 純子 (2018). 女子大学生の性と生殖に関するヘルスリテラシーと次世代育成力および母親がそなえるジェネラティヴィティとの関連. 筑波大学人間総合科学研究科博士学位論文
- Peterson, B. E. (2006). Generativity and successful parenting: an analysis of young adult outcomes. *Journal of Personality*, 74(3), 847-869.
- Sigvartsen, J., Gabrielsen, L. E., Abildsnes, E., Stea, T. H., Omfjord, C. S., & Rohde, G. (2016). Exploring the relationship between physical activity, life goals and health-related quality of life among high school students: a cross-sectional study. *BMC Public Health*, 15709. doi:10.1186/s12889-016-3407-0
- World Health Organization (2013) Preconception care: Maximizing the gains for maternal and child health. <<https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/340533/WHO-FWC-MCA-13.02-eng.pdf?sequence=1>>
最終アクセス日 2024 年 6 月 23 日

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Sumiko HISHIYA , Hisayo OKAYAMA	4. 巻 36 (1)
2. 論文標題 Path analysis of the relationships among mother;daughter intergenerational succession of generativity, health literacy, and health of female college students	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本助産学会誌	6. 最初と最後の頁 80 - 92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3418/jjam.jjam-2021-0034	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菱谷純子	4. 巻 13巻 2号
2. 論文標題 セクシュアリティの概念分析：2010年以降の国内文献の検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本母子看護学会誌	6. 最初と最後の頁 77-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 菱谷純子
2. 発表標題 プレコンセプションヘルスとヘルスリテラシーに関する文献検討：2018年から2023年まで
3. 学会等名 第6回日本助産診断実践学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 菱谷純子、渡邊淳子
2. 発表標題 次世代育成力の母娘世代間伝達の様相：性成熟期の娘への調査
3. 学会等名 第36回日本助産学会
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

1. 研究成果の活用
・「性成熟期女性の健康支援：母娘世代間伝達の可視化・活用を目指して」というテーマで、2022年度国際医療福祉大学成田キャンパスの学生会主催の成翔祭（大学祭）の教員企画として地域住民の方に対して、研究について結果を公開し、地域で求められる支援について意見を求めた。

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------